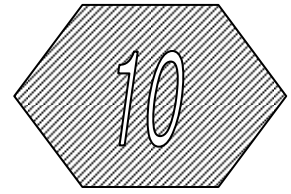


東京物語 STORY



2011年 8月6・7・8日 第142回学校体育研究同志会全国研究大会速報
東京大会実行委員会編集部

特別講座の感想(続)

D算数・数学



算数の授業も単に教科書を教えるのではなく、わかるためにはどのような問題から、どんな教具でと、教える側がきちんと考えないといけないのだと思いました。自分が楽しめる授業は子どもも楽しめるんだと思うので、まずは、苦手意識をなくして取り組んでみたいと思いました。ゲームを取り入れることも有効ですね。ありがとうございました。

Hさん(愛知)

E理科

授業と学級経営という関係の話からはじまり、理科とは民主主義を学べる教科だということで、予想、話し合うを実験の中で決着をつけるという点で、どの子ども楽しんで興味をもってとりくめる教科の1つである。

実験する前に何か出すときには、「これすぐれもんだ」といって出される先生の様子を見ていて、本当に楽しそうに実験することが伝わるんだとわかりました。今日のことを即生かして理科の授業に生かしていきます。

Mさん

F社会

大野先生の徹底した教材研究・資料作成と、子どもの認識(具体的思考)によりその姿勢は、僕たち体育同志会の研究スタイルに似ていると思いました。これが“民間”の姿勢であることを再認識しました。

歴史を事実としてその発展性に目を向け、資料から子どもたちの感性を引き出し、“自分たちと同じように昔の人もとらえていた”というところや“その時代だからこそ持ちえた感性”を

伝えることを通して子どもたちに物事への迫及する豊かな視点を育てようとしているのだなあと思いました。僕も歴史の授業がしてみたくくなりました。ありがとうございました。

Hさん（大阪）

G社会

分かりやすい相原先生のお話で勉強になりました。地震のメカニズム、津波の歴史と共に、人災である原発の事故を教材化し、子ども達と共に考えあう授業を構想せねばと思います。そのための貴重な資料をいただき感謝しています。

Sさん（愛知）



H社会

田所先生の6年の社会授業のお話を久しぶりに聞くことができました。わくわくドキドキで授業に入りこんでいる自分がいました。こんな授業を私も今のクラスの子供達にできたらいいな—と思いました。教科書にがんじがらめになっている自分を反省することもできました。子供が意欲的に知的好奇心をもてるような楽しい授業が必要だということを反省することもできました。ワクワクドキドキの授業があと何回できるかわかりませんが、今回の授業は実践したいと思います。本当にありがとうございました。

Iさん（東京）

I音楽

題名の通り、体をつかって全身で音楽を楽しめました。少々思ったよりハードでしたが...（笑）私は幼稚園に勤めていますが、リズム遊びはいろいろな場合でよくやります。今日実際に体を動かしてみても、こういう動きもあるんだなという発見や、カエル跳びのようにこんなに足を上げて子ども達跳べるかな、というもので（笑）たくさん学ぶ事ができて楽しかったです。

Nさん（東京）





J 技術

非常に楽しく充実した時間でした。モノを作りながら理論を学ぶという形が、難しい理論をわかりやすく教えるということにつながると感じました。活動を通して理論を学ぶということが体育にも通じるものがあると感じました。特にブーメランについては、投技能の習得にもつながると感じます。子どもたちが自分で作ったモノだからこそ熱中できると感じました。

Mさん

K 家庭

今まであまり意識することがなかった家庭科の意義が分かって、とても興味深かったです。調理実習や製作に追われがちだったけれど、それが社会科学や理科や、実に様々な分野にリンクしていくところに、奥の深さを感じました。今は、家庭科をもっていませんが、次にもつことになったら、「生きるため」を考えながら子どもたちと学びたいと思いました。

Yさん

L 性教育

これまで私自身、男性と女性二つの性のみ異性を愛するものとか、固定観念の中で生きてきたように感じます。これでは、“子どもたちに差別をしない”とは言えない。ここに触れなければ一人一人を大切にするという本当の意味からかけ離れてしまうと改めて感じました。多様な性を理解し、そのことで今でも苦しんでいる生徒に力になれる一人であればと思います。

安心できる場として対話をしていきたい。それはどの生徒にも共通して。

Iさん（山梨）

M 英語

自分がギモンに感じていることがストンと落ちました。これまでテンション高く楽しければいいのか？ もっと5、6年生にふさわしい学習があるんじゃないか と考えていたところだったので、先生の授業をうかがって、ぜひやってみたいと思いました。英語は身につかないことを前提とすると、いろんな授業ができそうで、早く授業がやりたいです。

ありがとうございました。

Kさん（東京）

N 道徳

考えることや人の考えを聞くことが楽しく、ためになったなあと思いました。道徳の授業は、これまで受けるのも自分が指導するのも嫌いでした。その時間だけおさまりの筋道でやっていくことが窮屈でした。この講座で「道徳」の幅が広いことがわかり考え方も窮屈でなくていいことが分かりなんか楽になった感じです。梅原先生のような考えをもたれている人に出会えてよかったです。世の中すごい人がいらっやって広いですね。学び続けるといいことがあるなと思いました。

これからはポジティブに考えていく「道徳」にチャレンジし、担任している子どもたちが窮屈にならず、価値基準をもてるような時間（授業）をつくっていきたいです。ありがとうございました。
Oさん（広島）

O 演劇

「やりたくなければやらなくていい」と言われていたのがとても印象に残りました。“演劇＝強制されるモノ”というイメージがあったので、意外なコトバ。そして、演劇は楽しいモノなんだな、と今日思いました。身体を動かして、いろんな遊びを通して、表現するというとても楽しい時間を送れました。

参加する予定ではなかったので、急遽参加することにしてよかったです。

ありがとうございました。



Wさん（埼玉）

P 進路指導

中学校の出口で受験と向き合うことが大きなストレスとなっているので参加した。まず高校受験の入り口像をつくることになっている見方が興味深かった。入試制度の問題は多く感じるが、大きなハードルをこえることを目的にさせる文化になっているのも事実。全入学制になったとしたら、そのために何を学んでおくかということも大切になってくるのだろうか。

Mさん（神奈川）